

# エコファイターズ

代表者 茨 久和(理工院修士前期2年)

構成員 冬野 聖(知能情報工学4年)田籠 照喜(機能材料工学3年)  
青木 柁仁(機械工学2年)安部 雄樹(理工院博士前期2年)

## 1. プロジェクトの目的

かつて山口大学工学部には環境サークルがなく、キャンパスの環境問題改善に関しては教職員が規制を行っており、学生主体で問題改善に取り組むことが行われていませんでした。そこで、3R(Reduce、Reuse、Recycle)意識啓発と行動促進を目指して、学生自身が自主的にキャンパスの環境を考え、仲間と協力して活動を行うために本プロジェクトは結成されました。

## 2. 活動状況

本年度は、以下の活動を行った。

- 1.行動する・紙パック回収
  - ・デポジット制の普及によるゴミの削減
  - ・WEBリユース掲示板
- 2.参加する・環境セミナー、環境コンテストへの参加
- 3.伝える・茶話会、HP、各情報誌等を通して活動紹介
  - ・紙パック回収

学生、教職員のリサイクルに対する意識向上を目指して2007年6月より紙パックの回収を始めました。回収方法としては、洗浄後パックをひらいて専用カゴにて回収しており、濡れた状態用のカゴと、乾燥した状態用のカゴを生協入口に設置しました。同時に、ポスターの掲示(図1)や、生協食堂テーブルに紙パック関する豆知識や情報を記載したチラシボックスの設置、工学部教職員会議において回収開始のお知らせと各研究室へのポスター掲示をお願いしました。

現在の回収集計結果を表1に、一週間あたりの回収結果を図2に示す。2008年1月25日現在までの回収量は、合計1640枚です。

1週間あたりの回収枚数をみると、夏にかけては増加したものの最近は減少傾向にあります。これは、寒くなるにつれ冷たい飲み物の需要が減ったことや、洗浄に抵抗を感じやすくなったためではないかと考えています。今後も回収場所を増やしポスター等で告知を行うことで回収枚数を増やし、意識の改善に取り組んでいきたいと考えています。



図1、紙パック回収ポスター

期間	週	500cc枚数	1000cc枚数	合計枚数	枚数/週
6/18~8/4	7	244	166	410	59
8/5~9/10	4	139	71	210	52
9/10~10/18	5	215	173	388	78
10/18~11/2	2	88	47	135	67
11/3~11/30	4	125	69	194	48
12/1~1/25	8	163	140	303	38
合計	30	974	666	1640	342

表1、紙パック回収集計結果

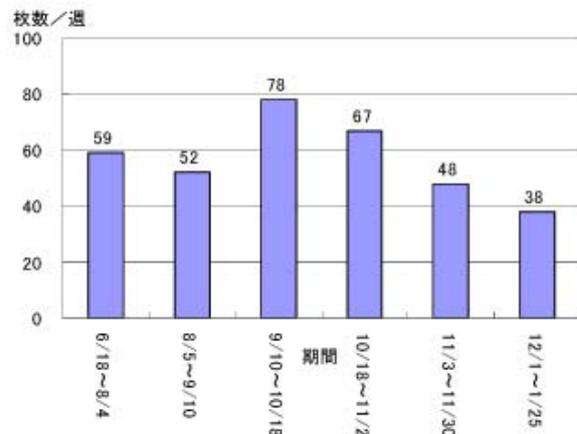


図2、一週間あたりの回収結果

#### ・大学祭におけるデポジット制の普及・リターナブル食器によるゴミの削減

お祭り等の模擬店では多くの使い捨て食器が使われており、大量のゴミが発生します。そこで私達は洗って再利用可能なリターナブル食器をイベントで使ってもらえるように働きかけ、ゴミの減量に取り組んでいます。今年度は常盤祭に加えて、宇部フロンティア大学、山口県立大学、宇部看護専門学校の各学園祭にも貸し出し、リターナブル食器を利用してもらった。

#### ・WEBリユース掲示板

大学では毎年学生の入替わりが行われるため、学期末には卒業生から使えるものでも家電製品や

家具といったゴミが発生します。同時に、在校生や入学生は多くの家具や雑貨を新品購入します。そこで、昨年はゴミ問題解決、リサイクルに対する意識向上を目指して、リユース掲示板を行いました。今年度は、このリユース掲示板をWEB上で行うことが出来るよう開発中を進めてきました。まだ開発中のため、実施することは出来ていませんでしたが、今後もプロジェクトのひとつとして取組んでいこうと考えています。

#### ・環境セミナー、環境コンテストへの参加

9月18日～19日の2日間、山口県エコキャンパス取組促進協議会の主催により、8大学から37名(内学生28名、教職員等9名)が参加して、山口県学生環境セミナー2007が開催されました(図3)。私達はセミナーに参加するだけでなく、実行委員の一員として、セミナーの企画運営にも携わりました。セミナー初日には山口市・宇部市で食品リサイクルの現場として、残飯や調理くずを飼料に加工するプラント、剪定枝やゴルフ場の刈草に乾燥生ゴミを混ぜて堆肥化するプラントなどを見学しました。山口徳地青少年自然の家では、多くの方々と共に行った意見交換や野外体験は、環境問題に対する視野を広げることができました。また、他大学の学生や環境グループメンバーとの親睦を深めることが出来ました。これを機会に、環境関連の行事案内や意見交換等のために参加者メーリングリストの立ち上げを準備中です。

さらに、12月には、東京で行われた全国大学生環境コンテストに参加しました。このコンテストは、全国から集まった環境に関する分野で活躍中の社会人・学生・見学者による公開選考を通じ、学生の環境活動を様々な観点から評価、表彰するコンテストです。私達も、現在抱えている問題や、行ってきた活動を発表しました(図4)。コンテストに参加し、多くの方々と意見交換や、他で行われている様々な活動を知ることによって、私達も、もっと強い意志をもって取組みたいと感じました。さらに、今後の活動のヒントも得るとも出来ました。

今後もこのようなイベントを通して、メンバー自身の意欲を高めながら、交流を深め、環境活動の輪を広げていきたいと考えております。



図3、環境セミナー(ワークショップ)



図3、環境セミナー(全員集合写真)

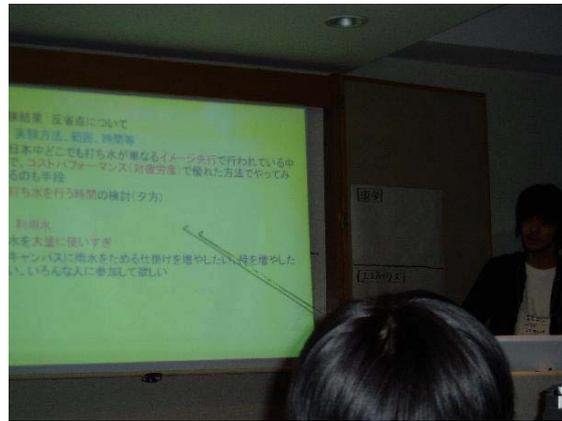


図4、エココンテスト2007

#### ・茶話会、HP、各情報誌等を通して活動紹介

地球環境問題、特に温暖化を啓発・告発した映画『不都合な真実』の上映会が、宇部市文化会館で行われました。私達は、本上映会に参加した学生・教員と共に、映画の感想に加え、地球環境問題解決に向けて私たちに出来ることを話し合いました。映画を観て、環境問題の現状を再認識し、やれるところから何か始めなければならないという気持ちがより強くなりました。話し合いには、留学生にも参加していただき、文化の違う方々の意見を知ることが出来ました。

また、KRYテレビ「元気です！やまぐち」と宇部日報にて、エコファイターズの活動を紹介していただき、学外の方にもアピールすることが出来ました。

### 3. おわりに

今年度は、去年のメンバーがほとんど卒業してしまったこともあり、多く教職員や生協の方々のご指導とご協力の下で活動を行うことが出来ました。そのおかげで、学生から発信する環境活動実践として、学内から地域へ活動の場を拡げ、多くの方々の理解と賛同を得ることも出来ました。地球環境問題は厳しさを増しており、今後はさらに活動を広げ、吉田・小串キャンパスの環境グループと共に成長し、山口大学全体の意識向上に努めたい。また、近隣大学の環境サークルとも協力して活動を強化、発信していきたいと考えています。

## 「山口大学おもしろプロジェクト'07」収支報告書

プロジェクト名 : エコファイターズ～エコキャンパス・エコシティを目指して～

代表者所属学部 : 理工学研究科

代表者氏名 : 茨 久和

(単位:円)

配 分 額		298,000			
区 分	実施経費内訳	数 量	単 価	金 額	備 考
物品費等	プラバスケツト	1	1,090	1,090	
	エコパック	1	1,250	1,250	
	マルチカード	1	1,320	1,320	

	フラッシュメモリ	1	5,980	5,980	
	かご	1	1,090	1,090	
	環境問題関連映画チケット	1	10,000	10,000	
	環境セミナー参加費	1	10,000	10,000	
	食器販売	1	61,780	61,780	
	レーザーポインター	1	14,952	14,952	
	デジタルカメラほか	1	59,740	59,740	
	ポスター印刷	1	20,480	20,480	
旅費・学資等	10/27～10/28	1	30,160	30,160	
	12/26～12/27	1	34,910	34,910	
	12/26～12/27	1	34,910	34,910	
合 計				288,112	